

「学校教育目標」と「令和6年度重点目標」に向けて

学校教育目標「主体的に学び、心豊かで創造性に満ちた生徒の育成」

めざす
生徒像

- (1) 学力向上に向け、主体的・計画的に自らの課題に立ち向かう生徒（知）
- (2) 規範意識をもち、挨拶や思いやりの心で、感謝・感動できる生徒（徳）
- (3) 夢や目標の実現に向け、積極的・継続的に取り組むたくましい心身をもつ生徒（心と体）

豊かな人間性

規範意識をもち、挨拶や思いやりの心で、感謝・感動できる生徒

- ・すべての教科等が連携して行う道徳教育の充実（礼儀、規律、感謝）
- ・生徒会活動・学級活動・学校行事など生徒が主体となって行う活動

健康・体力

夢や目標の実現に向け、積極的・継続的に取り組むたくましい心身を持つ生徒

- ・将来への目標を立て、達成に向け、ねばり強く取り組む態度の育成
- ・部活動を通して、健全でたくましい体力の維持向上

資質・能力の育成

確かな学力

目指す生徒の姿

学力向上に向け、学んだことを活用するなど、主体的・計画的に自らの課題に立ち向かう生徒

●何ができるようになるか

○育成を目指す資質・能力

- 学習したことを生かし、現代的な諸問題に対処できる力（知）
- 多様な考えを受け入れ、自分の考えをよりよくする力（思）
- 学習を自ら調整し、主体的に授業に取り組む態度（主）

●何が身に付いたか

○学習評価を通じた学習指導の改善

- 生徒自身が自らの学びを振り返る
- 教育課程や学習・指導方法の評価と改善を行う
- 多様な学習活動を対象とした、多面的・多角的な評価を行う

生徒の実態

課題を自分事として捉え、主体的に学びに向かう力、自分で考える力が弱い。

●何を学ぶか

○教育課程の編成

- 各教科の枠組みを踏まえた学習内容を学ぶ
- 各教科を横断して学ぶことのできる教育課程を編成
- 家庭と連携した学習習慣の確立

●どのように学ぶか

○教育課程の実施

- 「かさま」オリジナル授業
- 言語活動の充実
- 主体的・対話的で深い学びにつながる学習形態の工夫

実施するために何が必要か

- ・校内研究会の充実
- ・教育委員会や研究機関等との協力
- ・地域や家庭との連携・協働

生徒の発達をどのように支援するか

○配慮を必要とする生徒への指導

- 全職員の協働的な関与と支援
- 外部機関や支援員との協力
- 個に応じたきめ細やかな指導

安心・安全を守る

- ・いじめ防止基本方針の策定
- ・避難訓練などの実施と工夫改善
- ・計画的な安全計画

開かれた学校づくり

- ・学校評価を生かした開かれた学校づくりの推進
- ・ホームページや学校便りによる積極的な学校情報の発信
- ・地域や同窓生の人材、教材を生かした学校づくり